

ともに働き、 ともに歩む。

日野町の障がい者自立促進への取り組み

誰もが生きがいをもって暮らせるまちづくりのために

町では、障がいのある人が地域で自立して暮らすため、継続して仕事ができる雇用の場を提供しようと、町内の障がい者就労施設などからの物品等の調達を行っています。

そのほかにも、役場庁舎や町開発センター、町公民館の清掃作業も委託しています。加えて、日野郡3町と県が連携・共同してさまざまな分野で課題解決に取り組んでいる「鳥取県日野地区連携・共同協議会」においても、日野振興センターのプランターなどへの水やりや除草、公用車の洗車作業といった同様の取り組みを実施しています。

心を込めた商品づくりに高い評価

障がいのある人が作った木工品や手芸品などは、町のふるさと



図書館入口にセルプひの作成の
びのちゃん看板がお目見え

納税記念品やふるさと住民票登録記念品などに役立てられています。この取り組みが始まった平成25年からの実績額の推移を見ても、約74万円（平成25年度）から約113万円（平成27年度）と年々上がってきています。

町観光協会においても、日野町観光物産館金持神社札所（売店）で取り扱う縁起物などとして購入。平成27年度には約440万円の実績と、こちらも年々増加しています。

「デザインがかわいらしく、温かみがある」「周りにもぜひすすめたい」。購入者や記念品を受け取った人からの声を聞くと、障がいのあ

る人の心を込めた商品作りが評価されているといえます。

地域で積極的に活躍できる場づくりが求められる



セルプひの夏まつり

町内の福祉作業所であるセルプひの（社会福祉法人祥和会／根雨）では、日ごろから地域との交流を図ろうとさまざまなイベントや行事で、木工品や手芸品、うどんやクッキーなど

の販売を行っています。今後も、町では、障がいのある人への仕事の場の提供だけでなく、地域との交流を図る活動を見守り、ともに歩んでいけるような取り組みが求められています。そのため、今後も地域の障がい者就労施設などと連携し、障がいのある人が積極的に地域で活躍できるような場面づくりを支援していきます。

気軽にご利用ください♪

★セルプひの（電話 77-0018）

取扱商品：木工品、手芸品、うどん販売、喫茶など

★おしどり作業所（電話 74-0331）

取扱商品：洋菓子、加工食品など

★は～とふる Tottori（ホームページ <http://db.pref.tottori.jp/heartful.nsf/index.htm>）

障がい福祉サービス事業の商品や仕事を紹介しています。

【問合せ】役場健康福祉課（電話 72-0334）

読んでみたらんかな～

職員が勝手に
スヌメる1冊♪
“今読みたい本”が
見つかるかも!?

『だるまん』シリーズ

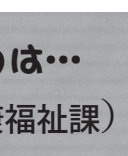
かがくい ひろし 著 / ブロンズ新社



おやすみの時間になると、布団に入った子どもたちは「どんな絵本を読んでもらえるのだろう」「また読んでもらいたいな」とワクワクすることと思います。

うちの子どもたちのお気に入りの絵本を紹介します。『だるまんが』『だるまさんの』『だるまさんと』の3冊です。有名な絵本なのでご存知の方もおられるのではないのでしょうか。タイトルのとおり“だるまんがころんだ”という遊びのあつ

最後に、『だるまさんと』では、イチゴやメロンなどかわいい果物たちとだるまんが「ぺこつ」とあいさつしたり、「ぎゅつ」と抱き合ったりします。絵に合わせて子どもと同じポーズをして楽しんでいきます。



この本を紹介してくれたのは…

地域包括支援センター（健康福祉課）
吉原 尚志さん

担当業務：高齢者の医療、介護、生活などに関する相談・支援ほか
吉原さんからひと言：
「現在の担当になり3年目、普段は、高齢者の皆さんの生活の困りごとや介護、医療に関する相談に乗っています。自宅で生活することの不安が一つでも解消し暮らしやすくなっていたらいいな」といつも考えています。
顔を覚えていただき、町の中で『元気ですか』『ちょっと疲れちゃうような』などと声をかけられることはうれしいですね。
忙しい日々の中、訪問途中に深呼吸し、山々の緑と青い空を眺めると落ち着くことができ、また頑張ろうと切り替えられます。私のリラックス方法の一つです。少しでも皆さんのお力になればと思いますので、気軽に相談ください」

職員紹介



“いつまでも元気に生き生きと”
高齢者のつよ～い味方！